

徳労発安 1218 第 1 号
令和 2 年 12 月 18 日

徳島県中小企業団体中央会
会長 布川 徹 殿

徳島労働局長



2020 年度及び 2021 年度新卒者等の採用維持・促進に向けた
特段の配慮について（要請）

日ごろは、労働行政の推進に格別の御配意を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、徳島県内の 2020 年度新卒者等の就職内定状況については、10 月末時点の就職内定率は高卒で 67.3%、大卒で 53.8%となっています。前年同期と比較すると高卒は 13.3 ポイント低下しましたが、今年度は高校生の採用選考開始日が例年より 1 か月後ろ倒しとなったため、過去 10 年間で最も高い内定率であった前年 9 月末時点と比較するとほぼ同水準となっています。一方、大卒は前年同期と比較すると 12.4 ポイント低下しており、新型コロナウイルス感染症の影響により企業説明会の延期・中止や一部の企業による採用選考活動の取りやめなど学生の就職活動への影響が生じているところです。また、2021 年度新卒者等の採用動向に不透明感が見られる等、予断を許さない状況です。

こうしたことから、別添のとおり、関係 4 府省連名で、「新卒者等の採用維持・促進に向けた取組」をとりまとめ、経済団体の長あてに要請しているところです。

つきましては、貴団体におかれましても、この趣旨について御理解いただき、2020 年度及び 2021 年度新卒者等の採用維持・促進に向けた特段の御配慮をお願いいたします。

また、貴団体傘下の会員企業等に対しましても、この内容について周知いただきますようお願いいたします。